安全データシート

1. 製品及び会社情報

Ultrafuse® PAHT CF15

推奨用途: 3D印刷, 工業的用途のみに使用のこと。

会社名:
BASF 3D Printing Solutions B.V.
Eerste Bokslootweg 17
7821 AT Emmen, Netherlands
電話番号: + 31 591 820 389
FAX番号: +31 (0)6 53 49 74 35
Eメールアドレス: sales@basf-3dps.com

緊急連絡先:
電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【ＧＨＳ分類】:
本製品は、ＧＨＳ分類基準に該当しない。

【ＧＨＳラベル要素】:

本製品は、ＧＨＳ基準により有害性警告表示を必要としない。

他の危険有害性:
規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

ポリマー

危険有害成分

カーボンブラック
含有量 (W/W): >= 10 % - < 20 %
CAS番号: 1333-86-4
化審法番号: (5)-3328
労働安全衛生法: (5)-3328

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
新鮮な空気の場所に移動させ、安静にすること。 必要に応じて呼吸補助具を使用する。 症状が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹸と水で完全に洗い流すこと。 溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。 刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:
眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。 刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。 直ちに医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: (他の)症状や影響については現時点で知られていない。
危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
噴霧水, 泡, 粉末

[特有の危険有害性]:
炭素酸化物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:
自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:
汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:
注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:
環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
小量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。 漏洩物を吸引する。
もし可能ならば、製造に再利用する。 十分な換気を確保すること。 粉塵を発生させないこと。

[追加情報]: 空気中に埃をまき散らすことを避ける（例：圧縮空気で埃の面をクリーニングする）。粉塵の生成と蓄積を避けること－粉塵爆発の危険性。 粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。 十分な換気を確保すること。 乾燥工程及び加工機器の溶解物流出口周辺では適切な換気を行うこと。 着火源から離して保管すること－禁煙。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉塵の発生および堆積を防ぐこと。

安全取扱注意事項:
本製品は燃焼拡大の原因にはならず、自己燃焼性もないし、爆発性もない。粉塵を発生させない。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

[保管]

適切な包装容器材料: 低密度ポリエチレン（LDPE), 高密度ポリエチレン（HDPE)

保管安定性:

湿気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

カーボンブラック, 1333-86-4;
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 3 mg/m3 (ACGIHTLV), 吸入可能部分
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 総粉塵
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 吸入性粉塵

【保護具】

[呼吸用保護具]:
呼吸保護具（もしエアゾール/粉塵が発生した場合） 呼吸保護具（換気の悪い場合） 固体微粒子および液体微粒子に対して中程度の有効性を示す粒子フィルタ。（例：EN 143 P2型もしくはEN 149 FFP2型）。

[手の保護具]:
熱い溶融物を大量に扱う場合（繊維又は皮革など）、耐熱手袋も使用すること（EN407）。

[眼の保護具]:
サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。））。

[一般的な安全及び衛生対策]:
機械処理および/又は熱溶解状態の間、接触を防止するために保護衣を着用する。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 作業後に手洗い、洗眼をする。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	繊維状
色:	黒色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	適用せず
pH:	適用せず

融点: > 200 ° C

沸点:
適用せず

引火点:
適用せず

蒸発率:
この製品は、不揮発性固体である。

燃焼性 (固体/ガス): 引火性ではない。

爆発範囲の下限:
分類と表示に関係しない固体用に関するものである。

爆発範囲の上限:
分類と表示に関係しない固体用に関するものである。

発火温度:
適用せず

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。 長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

自己発火性: 自己発火性なし。

自己発熱性: 自己発熱性物質ではない。

爆発危険有害事項: 爆発性なし。

火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。

蒸気圧:
適用せず

密度:
測定されていない。

相対密度:
データなし。

相対蒸気密度（空気）:
適用せず

水に対する溶解性: 不溶

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:
適用せず

粘度:
適用せず

動粘性率:
固体のため、未測定

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
温度: > 300 ° C
高温に長時間さらされると、密閉容器内の圧力上昇を伴う発熱分解が起こるおそれがある。 あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

[混触危険物質]:
酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の取扱い条件下で危険反応なし。
本品は、化学的に安定している。

熱分解物:
長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:
溶融物に接触すると、熱傷になることがある。

実験または計算によるデータ:
(経口):適用情報なし

(吸入による):粉塵の吸入は、深刻な危険性の可能性がある。

(経皮):適用情報なし

刺激性

刺激性作用の評価:
弱い皮膚刺激を起こすことがある。 弱い眼刺激を起こすことがある。 弱い呼吸器系の刺激を起こすことがある。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:機械的刺激を引き起こす可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:機械的刺激を引き起こす可能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
化学構造は感作作用を示唆していない。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:
化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発生毒性

催奇形性の評価:
化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:

単回暴露評価:
入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価:
その物質の経皮投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。 その物質の吸入投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。 その物質の経口投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

吸引性呼吸器有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

---

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

移動性

環境区分間の輸送評価:
試験は、科学的に正当化されていない。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
実験によると、本品は不活性であり、非分解性である。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
生体蓄積性はないと考えられる。

生体蓄積性:
生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:
本品の安定性と水に対する不溶性のため、現在までの知見によると環境への悪影響は考えにくい。

---

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。
欧州廃棄物リスト（European waste catalog：EWC）による廃棄物コードを指定することは不可能である。使用法により廃棄物コードは異なる。
欧州廃棄物カタログ（EWC）に従った廃棄コードは、役所/製造者/官庁と協力して決定しなければならない。

[汚染された容器]:
汚染された容器は製品と同様に廃棄する。
汚染されていない容器は再利用できる。

---

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

海上輸送 IMDG 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない	**Sea transport** IMDG Not classified as a dangerous good under transport regulations
航空輸送 IATA/ICAO 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない	**Air transport** IATA/ICAO Not classified as a dangerous good under transport regulations

15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・合成樹脂類（その他のもの）

カーボンブラック
労働安全衛生法
通知対象物

カーボンブラック
労働安全衛生法
表示対象物

その他の規則

もしも、このＳＤＳの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。 対応する職場作業員保護措置に従うこと。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。